

平成29年度 高病原性鳥インフルエンザ防疫演習を開催しました

東信地域において、高病原性鳥インフルエンザ（以下HPAI）が発生した場合に、迅速かつ的確な防疫措置ができるよう、関係機関において一連の防疫作業内容の確認と危機管理体制の強化のため10月3日、4日に実地演習を小諸市の長野県農業大学校研修部で開催しました。

主な内容は、HPAIが発生した場合の防疫措置、発生農場等における作業の際の防護服の着脱、鶏舎内防疫作業、消毒ポイントでの消毒作業、防疫作業前後の健康確認を行いました。

わたくしたち佐久農業改良普及センターでは、発生時に消毒ポイントの設置運営を担うこととなっているため、実際に設置した場合の消毒作業方法の確認を行いました。



鶏舎内作業演習



車両の消毒作業演習